



3月園だより

あやめ原こども園 令和3年3月

花々もほころび始め、本年度最後の月となりました。この1年間で、様々な経験を通して、たくさんの事が出来るようになった子ども達は心身ともに大きく成長しましたね。

残り少なくなりましたが、子ども達が楽しく過ごせるよう一日一日を大切にしていきたいと思ひます。

保護者の皆様には、たくさんのご協力とご理解をいただきありがとうございました。

保育目標

- ・子どもの気持ちを受容し、情緒の安定をはかり、就学、進級への喜びがもてるようにする。
- ・春の訪れや成長を喜び感じとる。



☆13日(土)は卒園式。31日(水)は修了式です。

(詳細は後日お知らせします。)

☆絵本代、保護者の会費、完納ありがとうございました。

☆年度末にアルバムや作品等を持ち帰ります。持ち帰りの袋は園の方で準備します。来年度も使用する為、持ち帰り後は袋の返却をお願いします。

新年度説明会

24日(水)
20時~21時予定

夜遅いため、保護者のみの参加となります。

駐車場：園庭



お別れ遠足について

5日(金)にお別れ遠足を予定しています。

- 持ってくるもの
リュックにお弁当、水筒、おしぼり、シート、ハンカチ、ティッシュ
別に着替え、お手拭きタオル



日	曜	行事予定
1	月	
2	火	英語教室
3	水	ひなまつり誕生会
4	木	体操教室
5	金	お別れ遠足・お弁当の日
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	英語教室
10	水	
11	木	体操教室
12	金	
13	土	卒園式
14	日	
15	月	
16	火	英語教室
17	水	おやつバイキング
18	木	体操教室
19	金	
20	土	春分の日
21	日	
22	月	お別れ会
23	火	英語教室
24	水	新年度説明会
25	木	体操教室
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	修了式



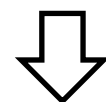
やさしく、思いやりを持って育てれば 子どもは、やさしい子に育つ



●人を思いやるとは、どのようなことでしょうか？

その人を敬い、やさしくすることです。それは、毎日のちょっとした仕草に表れるのです。人を思いやるとは、**ありのままのその人を受け入れ、相手の気持ちを尊重し、時には自分の気持ちよりも優先させること**なのです。

子どもは親の姿から、人を思いやる気持ちを学びます。



**親が、家族を思いやり、敬う気持ちを持っていれば、
子どもはそんな親の姿から、本当の意味で“思いやりの心”を学ぶのです”**

●○思いやりの心を育てる●○

幼い子どもは、自分のことしか考えられません。赤ちゃんや幼児は、世界は自分を中心に回っていると思っています。これは、幼児の自然な成長過程です。子どもに思いやりの心を教える時には、親の言葉の使い方、特にものの言い方には注意したいものです。

(例えば・・・)

✕「ほら、お兄ちゃんの絵の具入れが開けっ放しよ。蓋をして」

○「お兄ちゃんの絵の具入れが開けたままだわ。絵の具が乾いてしまうから、蓋をしてあげて。ダメになったら、お兄ちゃんがかっかりするでしょ」

このように言えば、**子どもは相手の気持ちを考える習慣を学びやすくなります。**

子は親の鏡

励ましてあげれば、子どもは自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合う事を教えれば、子どもは思いやりを学ぶ
親が正直であれば、
子どもは正直である大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりを持って育てれば、
子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

「子どもが育つ魔法の言葉」より